



三年目を迎える芳野小中一貫校



平成31年4月、芳野小学校と芳野中学校は、「芳野小中一貫校」として開校しました。それぞれ存続しながら一体的に教育を進めるのです。

これまで、小学校は6年間で、中学校は3年間で考えて、それぞれで子どもたちを育ててきました。一貫校では、中学校を卒業するときの姿を目標として共有し、「義務教育の9年間をつながりのある一つのまとまり」と考えて、子どもたちを育てていく」ということなのです。徳知体の調和のある教育に加えて、生活科・総合的な学習の時間を「芳野学」と名付け、小中学生の交流を盛り込みつつ、9年間の成長を目指します。

一貫校開校以前から、芳野校区では合同で運動会を開催したり、子どもたちの安全を見守っていただいたりしてきました。これからも保護者の皆様や地域の皆様との連携をより深めながら、一つの学校として、子どもたちの健全育成に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

一貫校開校以前から、芳野校区では合同で運動会を開催したり、子どもたちの安全を見守っていただいたりしてきました。これからも保護者の皆様や地域の皆様との連携をより深めながら、一つの学校として、子どもたちの健全育成に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



【芳野小中一貫教育のイメージ図】

小学校へ乗り入れ授業

一貫教育では、9年間のうち、小学1・2・3・4年生を「基礎期」、小学5・6年と中学1年生を「連携期」、中学2・3年生を「発展期」と設定しています。「連携期」では中学校の職員による小学校への「乗り入れ授業」を常時実施しています。毎週、5年生と6年生において1時間ずつ、音楽と外国語を指導します。本年度も4月下旬から始まりました。

昨年度は、国語（対象：全学年）や体育（対象：3・4年）、理科（対象：6年）を不定期実施しています。小学生は授業を楽しみにしています。昨年度は、指導者に御礼の手紙を渡した女の子が



【中学の音楽室で箏を学ぶ（昨年度の様子）】

いたほどでした。

通学路危険箇所確認会



【確認会の様子】

4月、芳野中学校体育館で本年度第1回目の心のもと協議会があり、引き続き通学路危険箇所確認会がありました。どちらも一貫校として、地域諸団体の皆様のご支援で子どもたちの安全安心を守るための会です。

危険箇所確認会には小中全校児童生徒が集まりました。そして合同登校班ごとに危険箇所を確認しました。そして地区の皆様とともに下校して、各所で助言を頂きました。子どもたちは危機管理意識を高めていました。

心のもと協議会の皆様、本年もご協力ありがとうございました。

【芳野小中一貫校だより「肥後三山」年四回の発行予定です。各学校だよりとは別に、小中一貫教育に絞って出来事等をお伝えします。なお、各学校だよりの記事と重複する場合もあります。